

2025年4月号

Vol. 236



arch-tsushin

あーち通信

「なだ桜まつり」のお知らせ

日時:4月5日(土) 10:00~15:00 ※小雨決行、荒天時は中止

場所:都賀川周辺(灘区民ホール横)

今年も、あーちから小さなリサイクルバザーのお店を出店します。ぜひ遊びに来てくださいね!



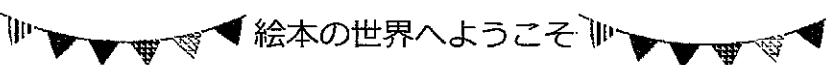
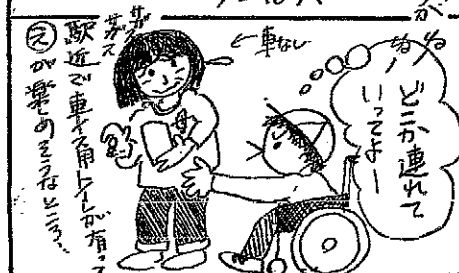
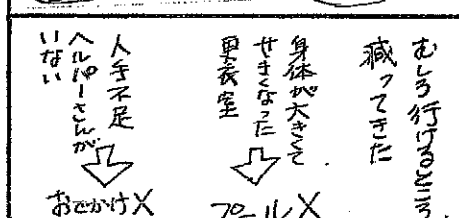
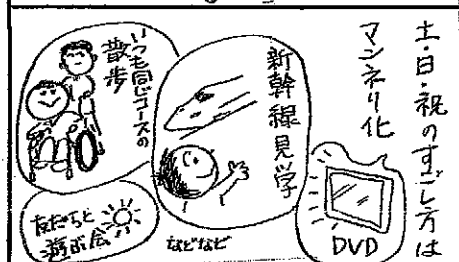
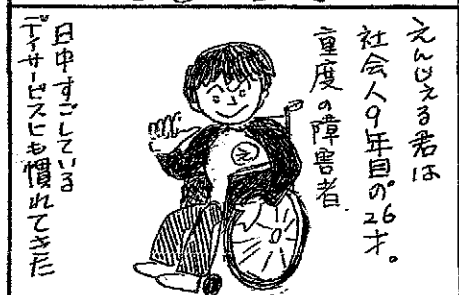
Message from U.S.A.~

さて、問題です。“burn the candle at both ends.”「両端からロウソクを燃やす」という英語ですが、どんな意味だと思いますか。例えば、“I have been burning the candle at both ends lately.”“をグーグル翻訳に入れると「最近、私は両端からろうそくを燃やしています。」となってしまいます。本当は「最近、私は休む暇もなく働いています。」という意味になり、かなり疲れていることを表しています。

新しいことが多くなる4月。子育てとお仕事を両立されておられる方、子育てに専念されている方、どなたも“Don't push yourself too hard.”「あまり無理をされませんように。」

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

えんじえろ君II by Bon



「そらまめくんのぼくのいちにち」

作:なかや みわ

小学館 2006年6月発行



そらまめくんは、えだまめくん、グリーンピースのきょうだいさん、さやえんどうさん、ピーナッツくんたち友達に見せたいものがありました。でも、みんなを誘って見に行くと、それは雨が降ったせいですっかり流れてしまっていました。がっかりするそらまめくんでしたが、みんなに励まされ、元気を取り戻します。

そらまめくんの素敵な朝の始まりに心を掴まれ、その後は、そらまめくんと仲間の友情に気持ちが温くなりました。

ページをめくる度、たんぽぽと綿毛が野原に広がっていて、ぽかぽか春の陽気も感じられる1冊です。

(あーちスタッフ 永野)



4月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
2	水		
3	木		健康あーち(相談) 午前中
4	金	よる・あーち 17:00~19:20	
5	土	ブラレール広場 10:30~16:00	あらかると音楽あそび 14:30~15:00
6	日	休 館	
7	月	休 館	
8	火		
9	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00
10	木		
11	金	よる・あーち 17:00~19:20	
12	土	いのちをつなぐイベント(準備) 10:45~12:00 ※ゆーす おはなしの国 11:00~11:30	
13	日	休 館	
14	月	休 館	
15	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
16	水		
17	木		
18	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45
19	土	ブラレール広場 10:30~16:00	
20	日	休 館	
21	月	休 館	
22	火		ふらっとリトミック 11:00~11:30
23	水	月イチwith 10:30~12:00	
24	木		
25	金	よる・あーち 17:00~19:20	
26	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
27	日	休 館	
28	月	休 館	
29	火	休 館	
30	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00

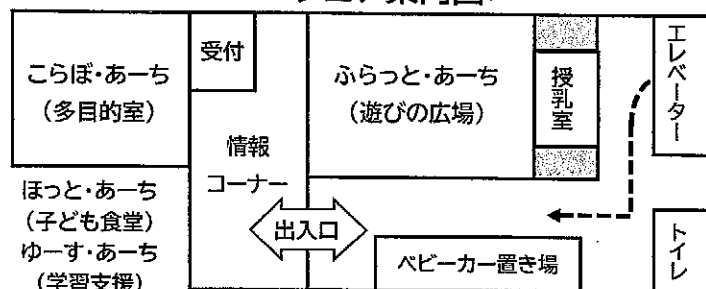
- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。

また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、開始時刻より早めにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

水曜 午前 保健師・保育士

水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師

お電話でも相談できます

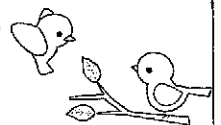


<プログラムのご案内>

- ★あーち人形劇団「むー」…あーちに来ているみなさんと、一緒に楽しく人形劇遊びをしませんか？それぞれ自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません)
※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。
- ★健康あーち(相談)…大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★ふらっと リトミック…リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA…肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。

<あーち利用のご案内>

- 利用時間** 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)
※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)
- 注意事項** オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。

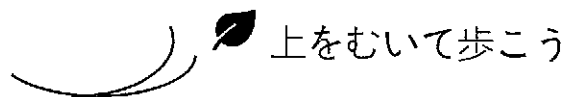


～わたしと よる・あーち～

よる・あーちに参加している学生の感想をご紹介します

あーちに関わる中で 飯田理愛

はじめまして。私は昨年4月から「のびやかスペース あーち」にボランティアとして関わっており、もう1年が経とうとしています。私自身、これまで障害のある方やその保護者と関わる機会が全くなかったため、ボランティアとして関わる際には不安と戸惑いでいっぱいでした。しかし、あーちを通して、多くの方と交流し、あーち合宿に参加する中で、次第に色々な方とコミュニケーションを取ることができ、互いに顔の見える関係を構築することができました。私は利用者の方々のニーズに応じた支援を行っていますが、彼らの成長ぶりには驚かされるものがあります。今では、あーちという場所そのものが私や利用者の方にとって一つの「安心して過ごすことができる居場所」となっているのではないかと思います。あーちは、障害や性別、人種、年齢に関係なく、多様な方が相互交流を通して、助け合う場となっています。更に、よる・あーちでは「居場所作り」、「学習支援」、「子ども食堂」などの様々なプログラムが展開されており、多様な子育て支援が充実しています。今年の9月であーちは開所から20年を迎えます。そのため、あーちそのものがより多くの人にとって楽しく、身近な存在となることができるように、私自身日々精進して、多くの人と交流を通して、関わっていきたいと思います！



<第1回 出会い>

「はじめまして」のみな様、「お久しぶりです」のみな様、今回号よりエッセイを担当することになりました、あーちにお世話になって十数年、高校生のTERUとTERUの母です。よろしくお願いします。ちなみに”TERU”は大好きなおばあちゃんの名前から本人がつけたペンネームです。今年9月に20周年を迎えるあーちの記念ということで、単発だと勘違いしてお受けしたエッセイがシリーズものと知り、何を書いたらよいのかと悩む母に、

TERU 「魯迅(ろじん)の『故郷』みたいな感じはどう?人生ではお金が大切なのか、人との出会いが大切なのか。」

(魯迅の「故郷」って何?・・・慌ててネット検索をしてみる。)

TERUの母 「魯迅の『故郷』はエッセイではなくて小説。それに『故郷』はお金と出会いどっちが大切かという話ではなさそうだよ。」

TERU 「そうだよ。例えば『故郷』みたいに心に響く小説からスタートして、内容を広げていくという方法もあるってこと。」

(なるほど・・・TERUはエッセイの書き方をアドバイスしてくれていたのか^^;)

TERUは小さいころから作文が苦手。テーマはしょっちゅうぶれ、あるテーマで書き始めても2行目から違う内容にすり替わってしまうし、接続詞の使い方も怪しく、意味を間違えて覚えた単語や言葉はいまだに多い。作文の上達には読書がよいというが、本は自ら手にとって読むタイプではないし、読書の強制は本嫌いになりかねない。小学校時代の音読は読ませると超速なうえ読み違いや言葉のすり替えが目立ったが、小さいことは気にせず進んでいった。結果、ほっとけないレベルの文章力だといわれ、今、文章の書き方を塾で指導してもらっている。最近、以前より作文が上達したとほめられたらしく、TERUは今回のエッセイは腕試しで企画や作文もやってみたいと意欲的。

TERUの母 「TERUは第1回目、何が書きたい?」

TERU 「人生では出会いがすごく大切だということを書きたい。僕の人生だと”あーち”と出会えたのは奇跡だから。」

(高校生にして人生を語るとは!)

TERUは幼少期から周囲と比べ成長に凸凹のある子供だった。あーちと出会い、あーちという特別な居場所で自分を丸ごと肯定してもらい、小さな頃は思いっきり遊んで発散、小学校の高学年になると学校で過ごすことで湧き上がってくる衝動を自分にはあーちがあると思う事で抑えることができ気持ちを爆発させずにすんだと本人は語っている。

TERUの母にとってもあーちで出会ったママさん達と話をしたり、講演等も紹介してもらい、あーちがきっかけで出会えた言葉や話がTERUを理解するための大切なキーワードになった。

あーちとの出会いが、凸凹のあったTERUのある意味素直なところを守ってくれ、その素直さが思春期に入った自分に人生の進路を決めていくための次の大切な出会いを運んでくれたとTERUは思っていて、時々、「あーちに行ってなかったらどうなってたかな・・・。」とつぶやきながら、大切な場所とたくさんの人との出会いに感謝している。子供にとって安心できる居場所や自分を丸ごと受け入れてくれる環境って本当に大切なんだと、しみじみ親子で実感。

今、TERUは凸凹がもたらす課題を受け入れながら徐々に自分を振り返ることもできるようになった。まだ出来ないことや課題もたくさん、思春期特有のトラブルや悩みもあるけど、前向きに前進している。とにかく成長ってすばらしい!!

春は出会いの季節、みなさんにより出会いが待っていますように。

TERU(企画)・TERUの母(文)

※次回はTERUが作文にチャレンジ、TERUが誰か気づいた方も内緒でそっと見守ってくださいね。